

令和5年度

名古屋市子ども・若者・子育て家庭

意識・生活実態調査報告書（概要）

令和6年3月

名古屋市

1 調査目的

令和6年度に策定予定のなごや子どもの権利条例第20条の規定による「子どもに関する総合計画」及び子ども・子育て支援法第61条の規定による「市町村子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため、子ども・若者・子育て家庭の意識・生活実態・ニーズ等を調査する。

2 調査対象

名古屋市内に居住する者のうち、次の年齢に該当する者等を住民基本台帳から無作為に抽出し、調査対象とした。

- ① 子育て家庭
 - ア) 0歳～5歳の子どもの属する世帯（就学前保護者） 12,000世帯
 - イ) 6歳～17歳の子どもの属する世帯（就学後保護者） 12,000世帯
- ② 子ども 10歳～17歳の子ども 8,000人
- ③ 若者 18歳～39歳 10,000人

3 調査方法

調査票を郵送で配布し、郵送またはオンラインによる回答を対象者が選択。

4 調査期間

令和5年7月3日から7月24日

5 回収結果

区分	調査対象数	回収数	回収率（％）
就学前保護者	12,000	3,596	30.0
就学後保護者	12,000	3,017	25.1
子ども	8,000	1,516	19.0
若者	10,000	1,951	19.5
合計	42,000	10,080	24.0

目 次

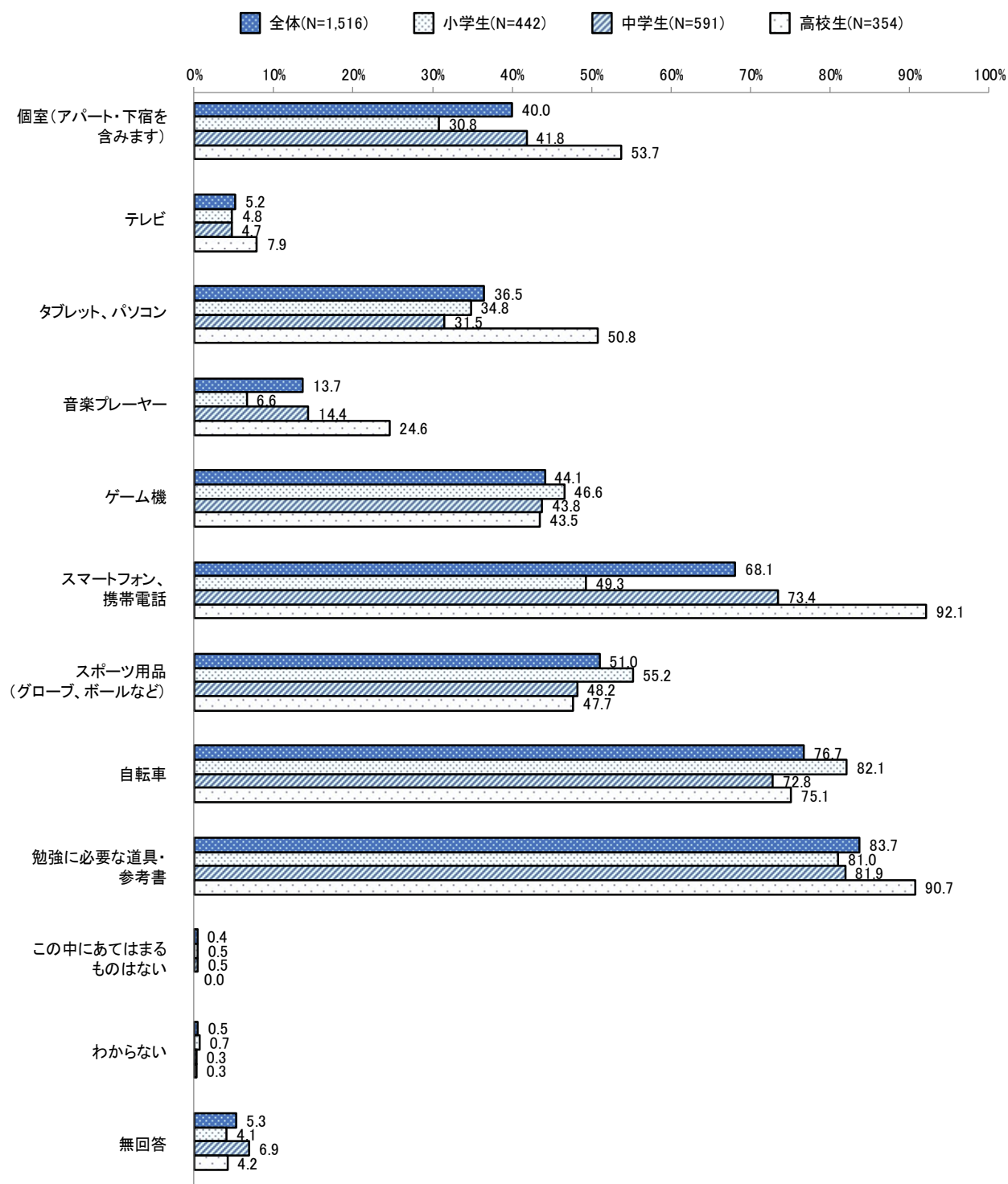
I	子ども調査	1
	自分専用の持ち物について【問 11】	1
	インターネットの使用時間について【問 12】	2
	経済的な生活レベルについて【問 14】	3
	通っている学校について【問 21】	3
	悩みの相談相手について【問 27】	4
	自分のことが好きかについて【問 32】	5
	今の生活の満足感について【問 34】	5
	40 歳になったときの状態について【問 43】	6
	なごや子どもの権利条例を知っているかについて【問 45】	7
II	若者調査	8
	あなたの経済状況について【問 2】	8
	経済的に独立するのに必要な支援について【問 4】	8
	結婚願望の有無について【問 15】	9
	結婚に対する不安について【問 16】	9
	子どもが欲しいかについて【問 18】	10
	子どもが欲しいとは思わない理由について【問 19】	11
	少子化対策として必要な支援について【問 20】	12
	5 年後の自分のイメージについて【問 48】	13
	居場所について【問 52】	13
III	子育て家庭調査	14
	地域の子育ての状況について【問 6】	14
	なごや子どもの権利条例について【就学前問 8・就学後問 9】	15
	名古屋市の子育て支援の取り組みについて【就学前問 10・就学後問 11】	
	（1）期待の有無	16
	（2）現状の満足度	18
	両親の就労状況について【就学前問 11・18、就学後問 12・19】	20
	出産にともなう母親の退職や転職について【就学前問 25・就学後問 26】	21
	育児休業の取得について【就学前問 27】	21
	家事・子育ての分担について【就学前問 32・就学後問 31】	22
	子育ての経済的負担について（世帯の暮らし向き）【就学前問 71・就学後問 32】	23
	少子化対策として特に必要だと思う支援【就学前問 83・就学後 47】	24
	お子さんの人数について【就学後問 84・就学後問 48】	26
	お子さんの人数が理想とする人数より少ない理由について【就学前問 85・就学後問 49】	27

I 子ども調査

自分専用の持ち物について 【問 11】

■あなた「専用」のものを持っていますか。(複数回答)

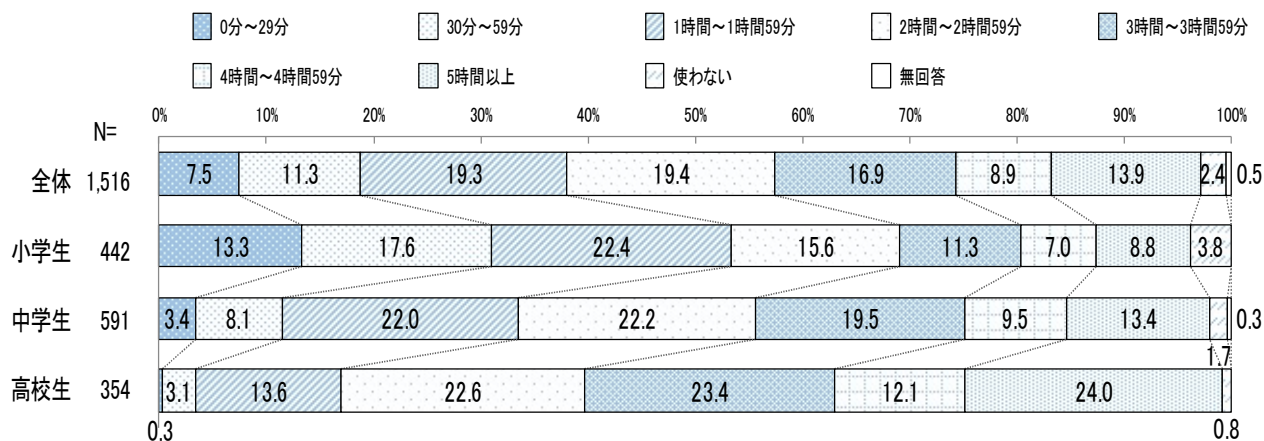
- ◇ 全体では、「勉強に必要な道具・参考書」が83.7%で最も多く、次いで「自転車」が76.7%、「スマートフォン、携帯電話」が68.1%となっている。
- ◇ 「勉強に必要な道具・参考書」は、小学生、中学生、高校生のいずれも同様に、80%以上と高い割合がみられる。
- ◇ 「勉強に必要な道具・参考書」以外で割合が高いのは、小学生の場合は「自転車」、中学生、高校生の場合は「スマートフォン、携帯電話」である。



インターネットの使用時間について 【問 12】

■学校の授業以外で、タブレット、パソコンやスマートフォン、携帯電話などでインターネットを1日どのくらい使いますか。(1つ)

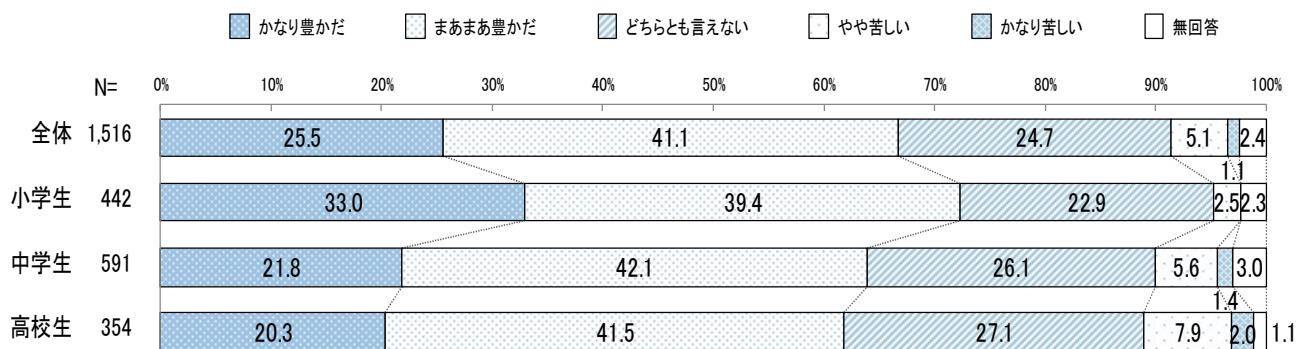
- ◇ 全体では、「2 時間～2 時間 59 分」が 19.4%で最も多く、次いで「1 時間～1 時間 59 分」が 19.3%、「3 時間～3 時間 59 分」が 16.9%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて、2 時間未満の割合は低くなっているが、2 時間以上の割合は高くなっている。



経済的な生活レベルについて 【問 14】

■あなたの家庭の「経済的な生活レベル」について、あなたはどのように思いますか。（1つ）

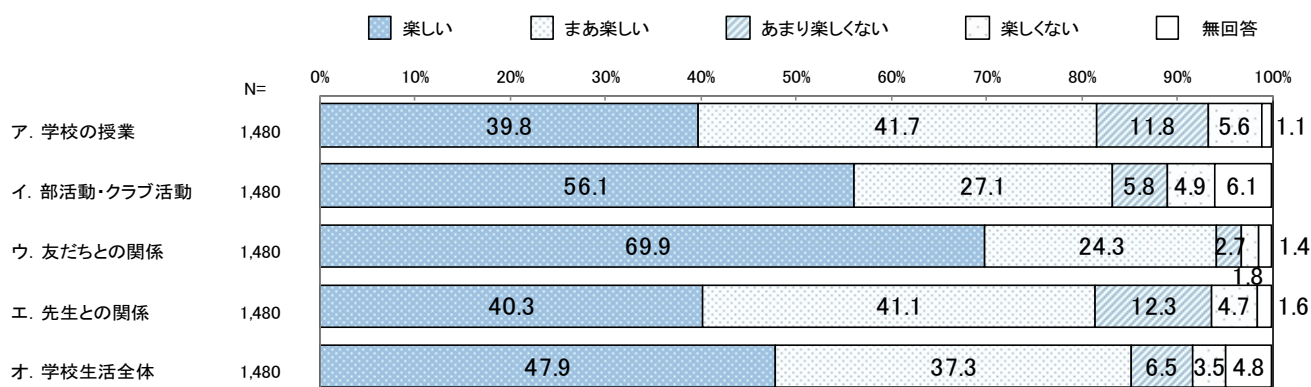
- ◇ 全体では、「まあまあ豊かだ」が 41.1%で最も多く、次いで「かなり豊かだ」が 25.5%であり、66.6%は豊かだと回答している。
- ◇ 小学生の場合、豊かだと感じている割合は 72.4%であるが、高校生になるにつれてその割合が低下し 61.8%となる。



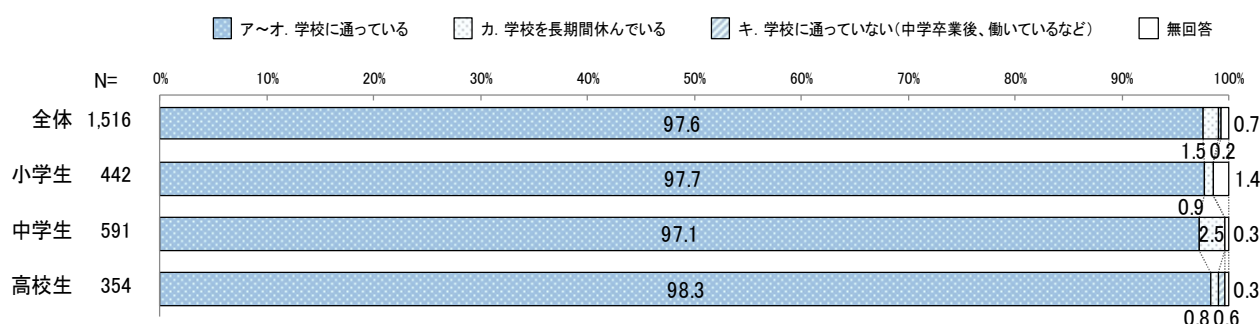
通っている学校について 【問 21】

■いま通っている学校での生活は楽しいですか。（各 1つ）

- ◇ 全体において、「楽しい」と回答している項目は、「友だちとの関係」が 69.9%と最も高く、次いで「部活動・クラブ活動」が 56.1%、「学校生活全体」が 47.9%である。
- ◇ 全体において、「楽しくない」と回答している項目は、「学校の授業」が 5.6%と最も高く、次いで「部活動・クラブ活動」が 4.9%である。
- ◇ 長期間学校を休んでいる子どもの割合は全体で 1.5%である。



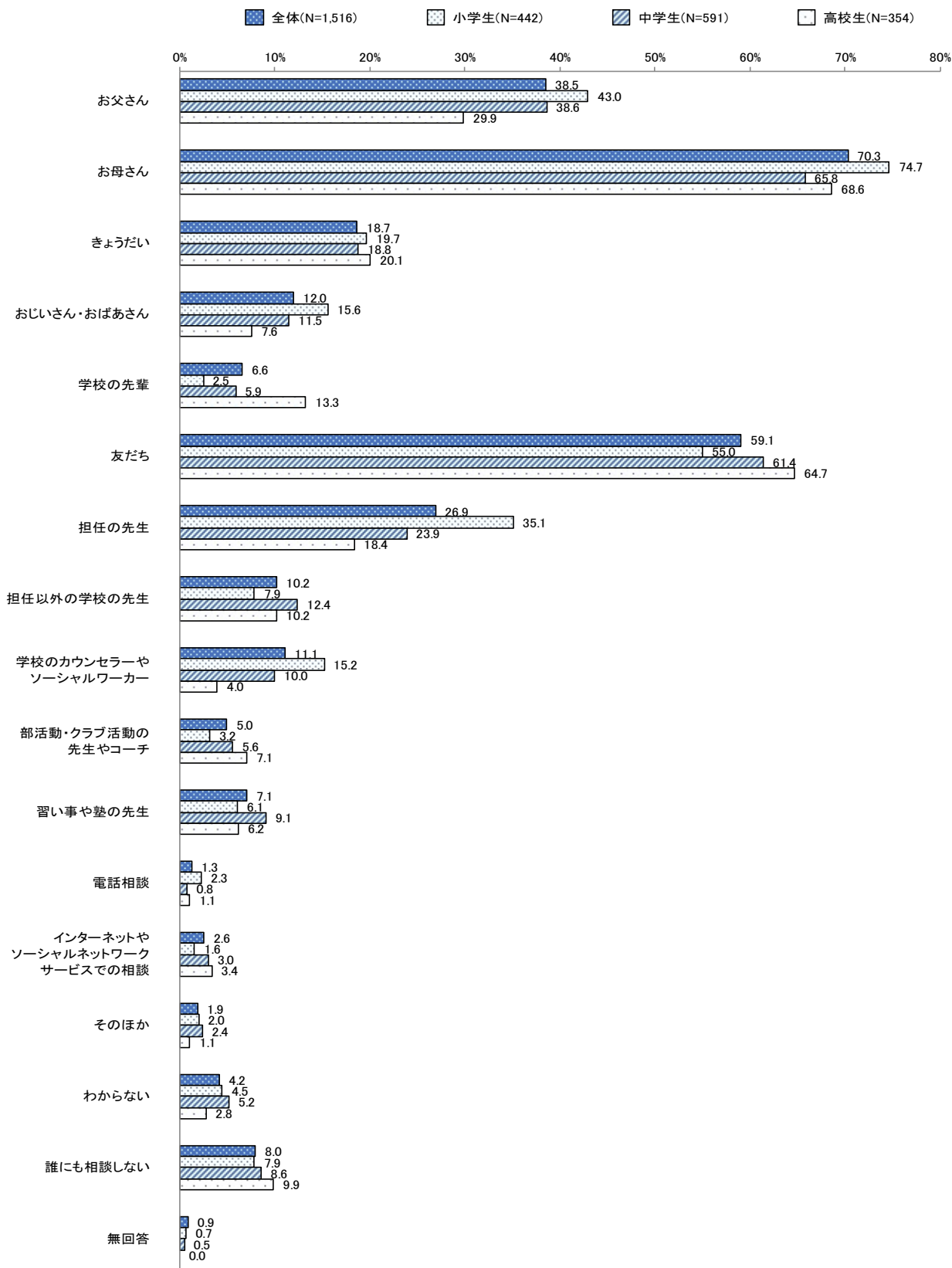
【学校に通っているか】



悩みの相談相手について 【問 27】

■ 悩みや困ったことがあるときに相談する人はだれですか。（複数回答）

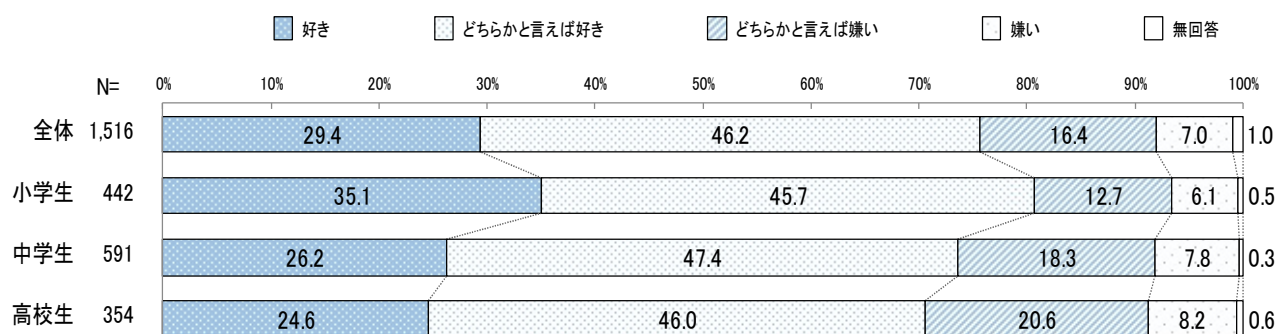
- ◇ 全体では、「お母さん」が70.3%で最も多く、次いで「友だち」が59.1%、「お父さん」が38.5%、「担任の先生」が26.9%、「きょうだい」が18.7%となっている。
- ◇ 「お父さん」「お母さん」に相談する割合は、ともに小学生が最も高い。



自分のことが好きかについて 【問 32】

■ 自分のことが好きですか。（1つ）

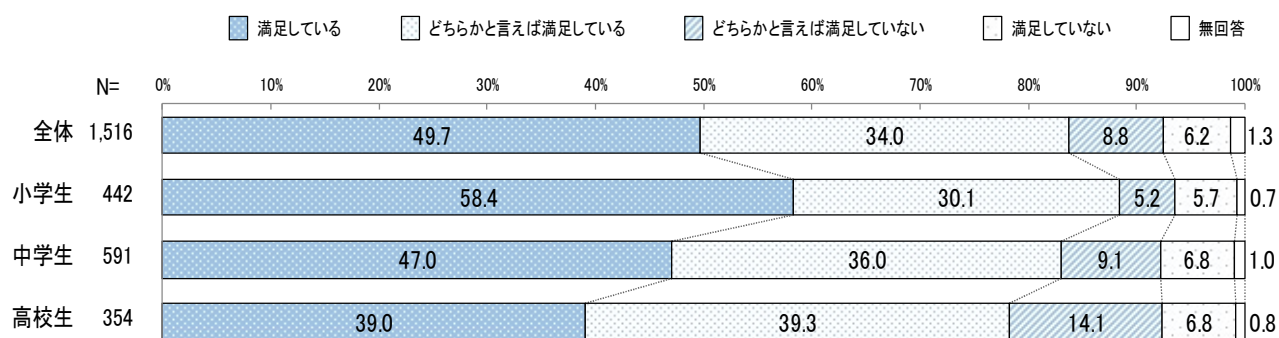
- ◇ 全体では、「どちらかといえば好き」が46.2%、「好き」が29.4%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて「どちらかといえば嫌い」「嫌い」の割合が高くなる。



今の生活の満足感について 【問 34】

■ 今の生活に満足していますか。（1つ）

- ◇ 全体では、「満足している」が49.7%、「どちらかといえば満足している」が34.0%である。
- ◇ 高校生になるにつれて、「満足している」の割合が低くなる。

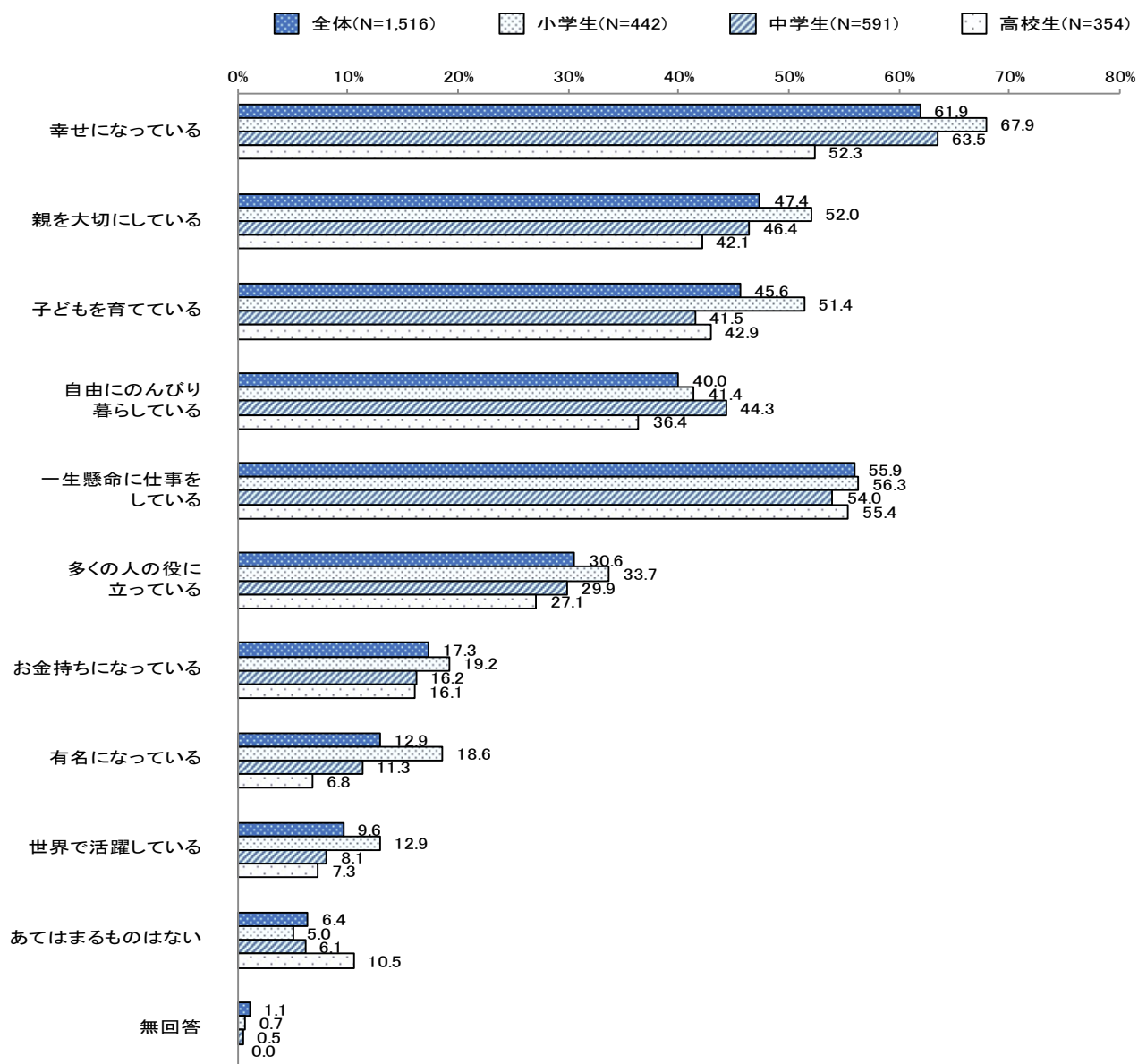


40 歳になったときの状態について 【問 43】

■あなたが40 歳くらいになったとき、次のような状態になっていると思いますか。

(複数回答)

- ◇ 全体では、「幸せになっている」が61.9%で最も多く、次いで「一生懸命に仕事をしている」が55.9%、「親を大切にしている」が47.4%、「子どもを育てている」が45.6%となっている。
- ◇ 「一生懸命に仕事をしている」の割合は、学校種別でほとんど差はなく、いずれも55%前後となっている。

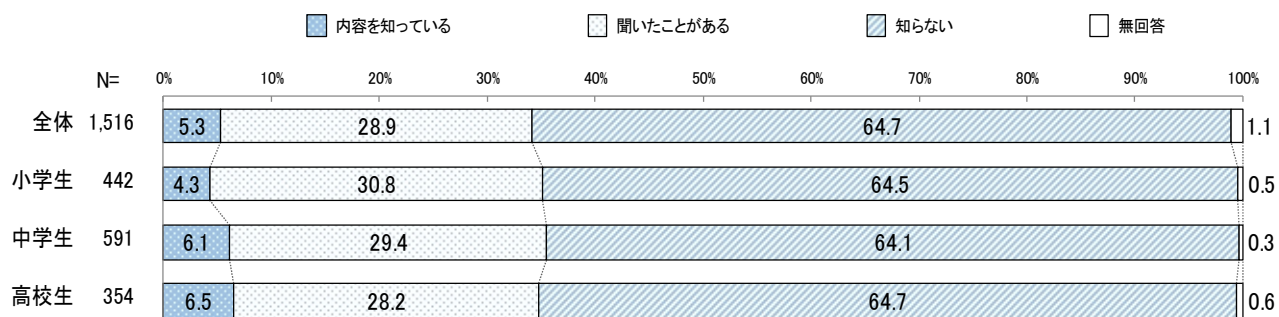


なごや子どもの権利条例を知っているかについて 【問 45】

■ なごや子どもの権利条例を知っていますか。(1つ)

◇ 「知らない」が64.7%と全体の6割以上を占める。

◇ 小学生の「内容を知っている」割合が4.3%で、高校生になるにつれて高くなる。

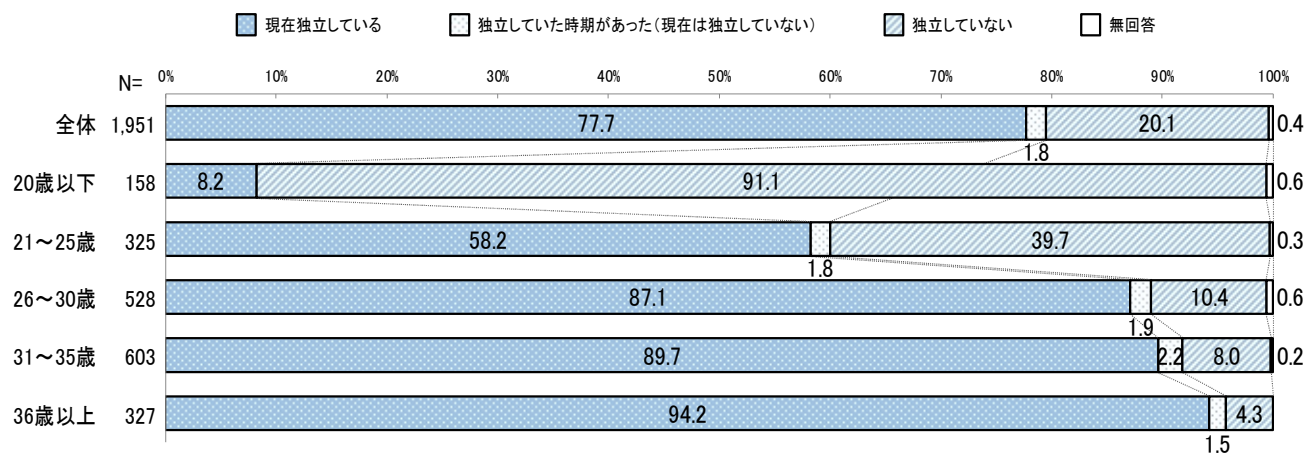


Ⅱ 若者調査

あなたの経済状況について 【問 2】

■現在、あなたは親から経済的に独立していますか。(1つ)

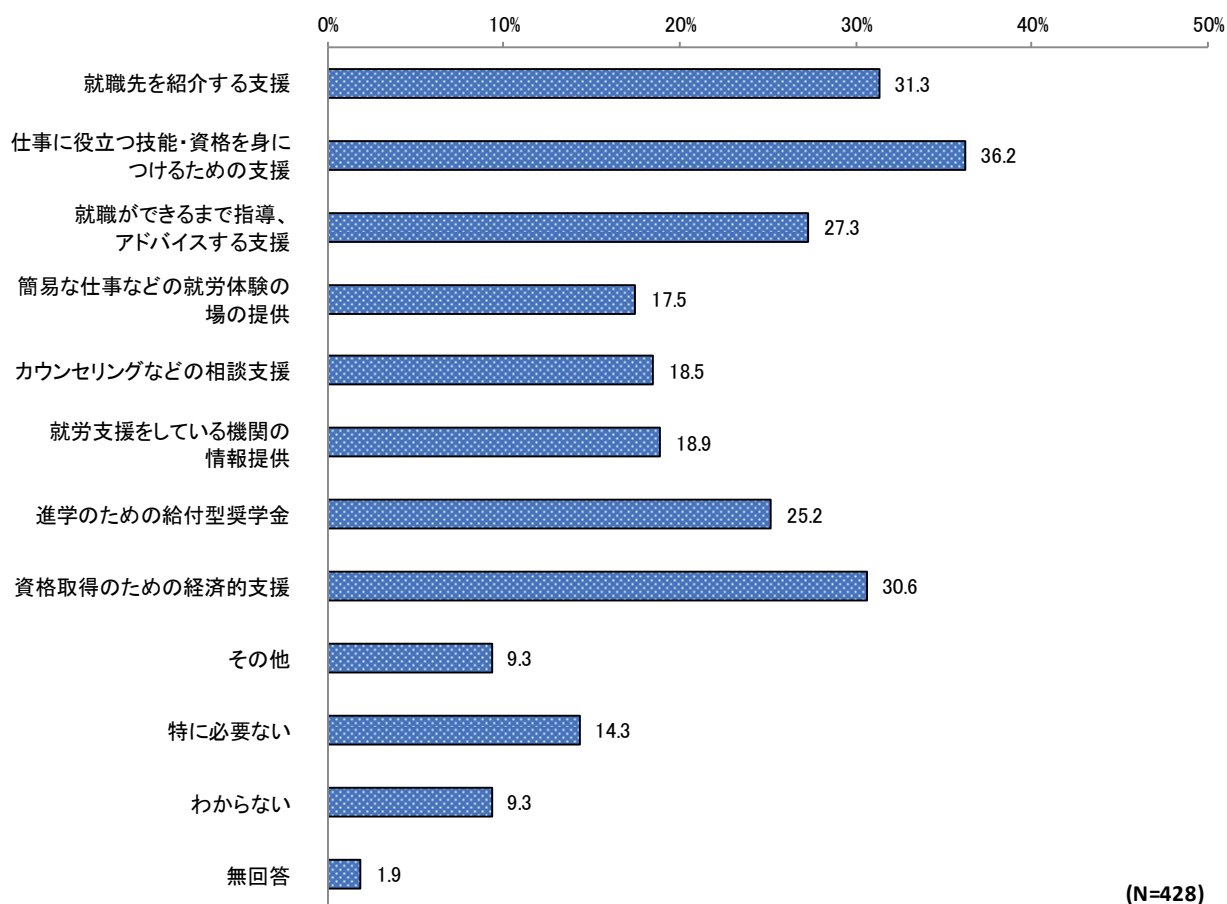
◇ 全体では、「現在独立している」が77.7%と最も多く、次いで「独立していない」が20.1%となっている。



経済的に独立するのに必要な支援について 【問 4】

■経済的に独立するために、あなたが必要だと思う支援は何ですか。(複数回答)

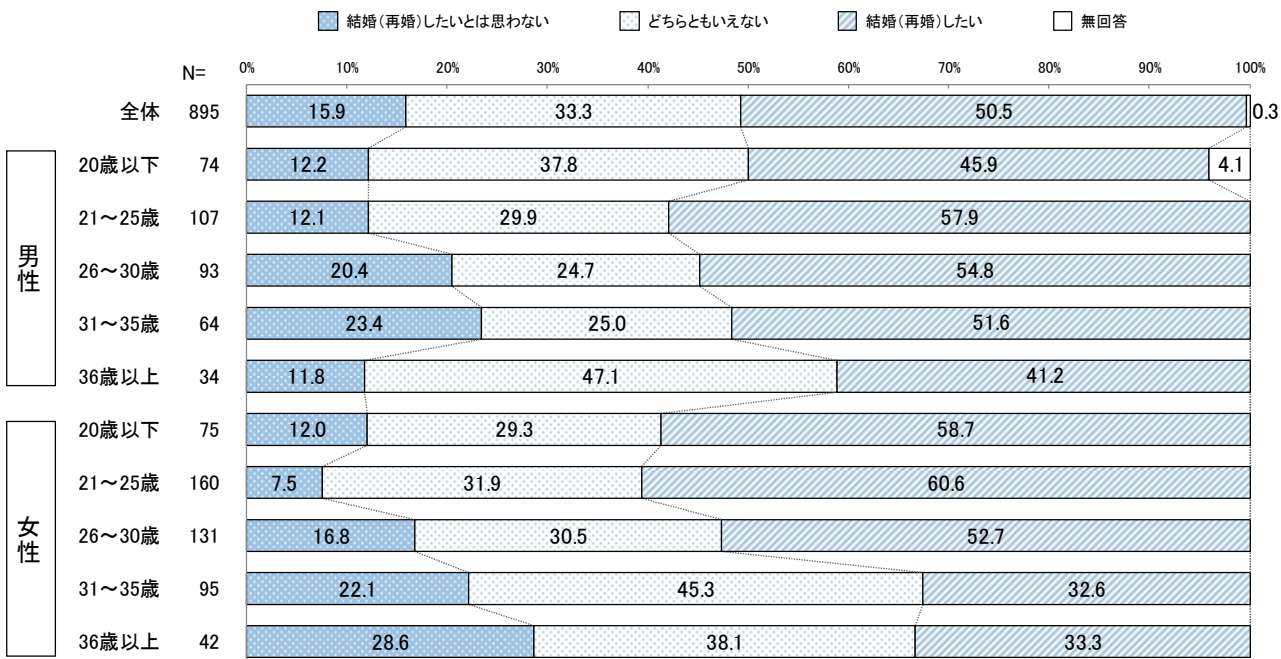
◇ 「仕事に役立つ技能・資格を身につけるための支援」が36.2%と最も多く、次いで「資格取得のための経済的支援」が30.6%となっている。



結婚願望の有無について 【問 15】

■ 将来、結婚（再婚）したいですか。（1つ）

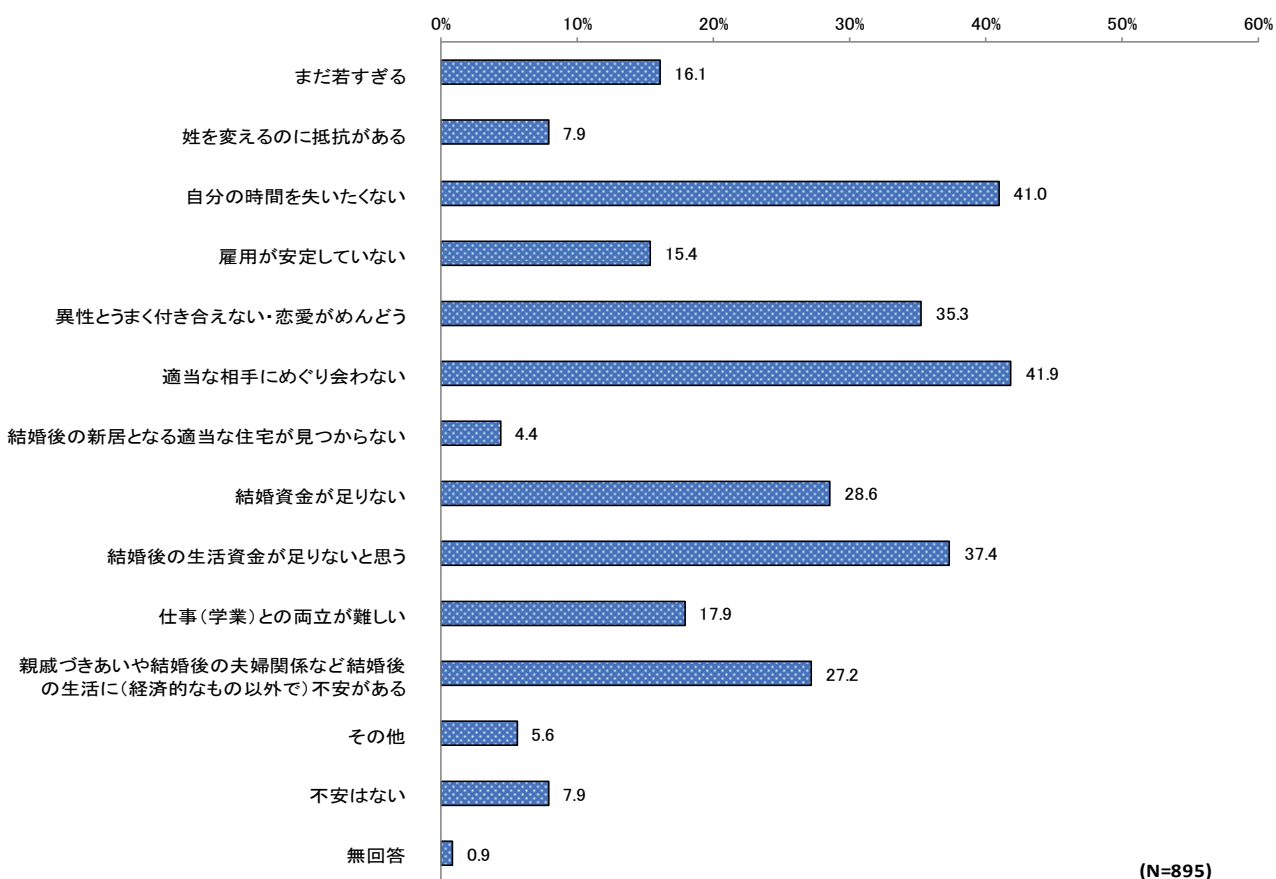
◇ 全体では、「結婚（再婚）したい」が 50.5%と最も多い。



結婚に対する不安について 【問 16】

■ 結婚について不安に感じていることはありますか。（複数回答）

◇ 「適当な相手にめぐり会わない」が 41.9%と最も多く、次いで「自分の時間を失いたくない」が 41.0%となっている。

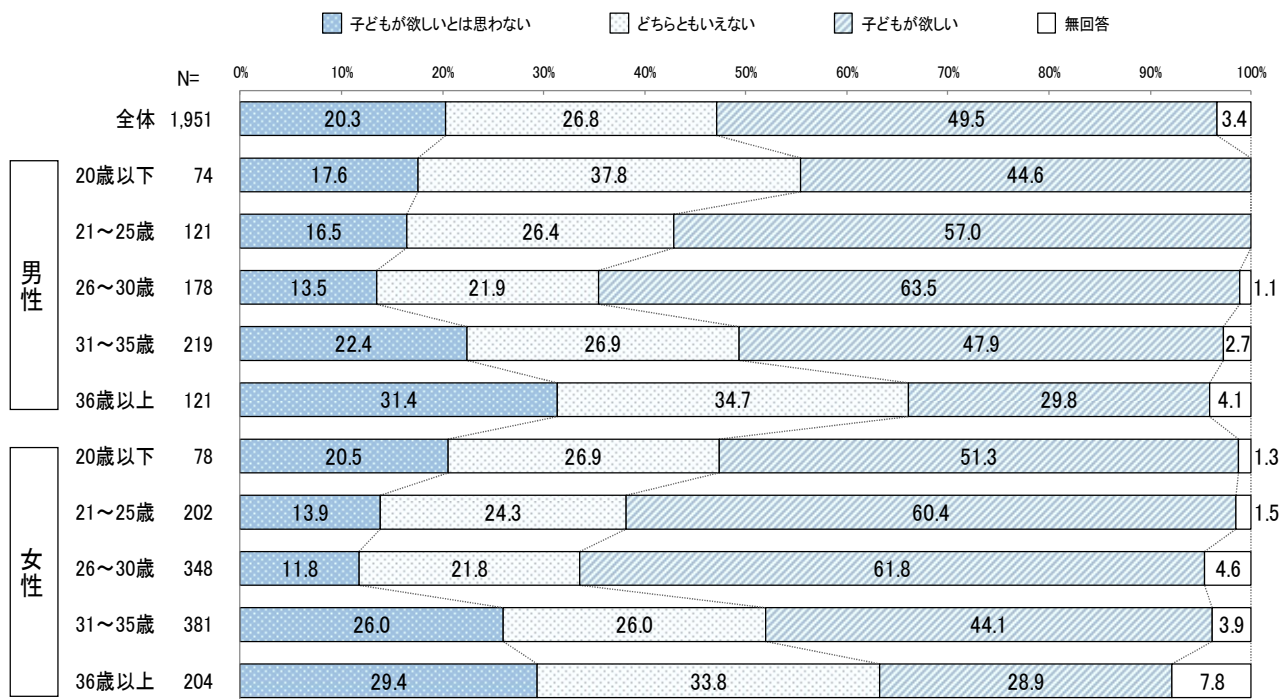


(N=895)

子どもが欲しいかについて 【問 18】

■ 将来、子どもが欲しいですか。すでにお子さんがいる方も、もっと子どもが欲しい、という方は「子どもが欲しい」を選んでください。（1つ）

◇ 全体では、「子どもが欲しい」が 49.5%と最も多い。

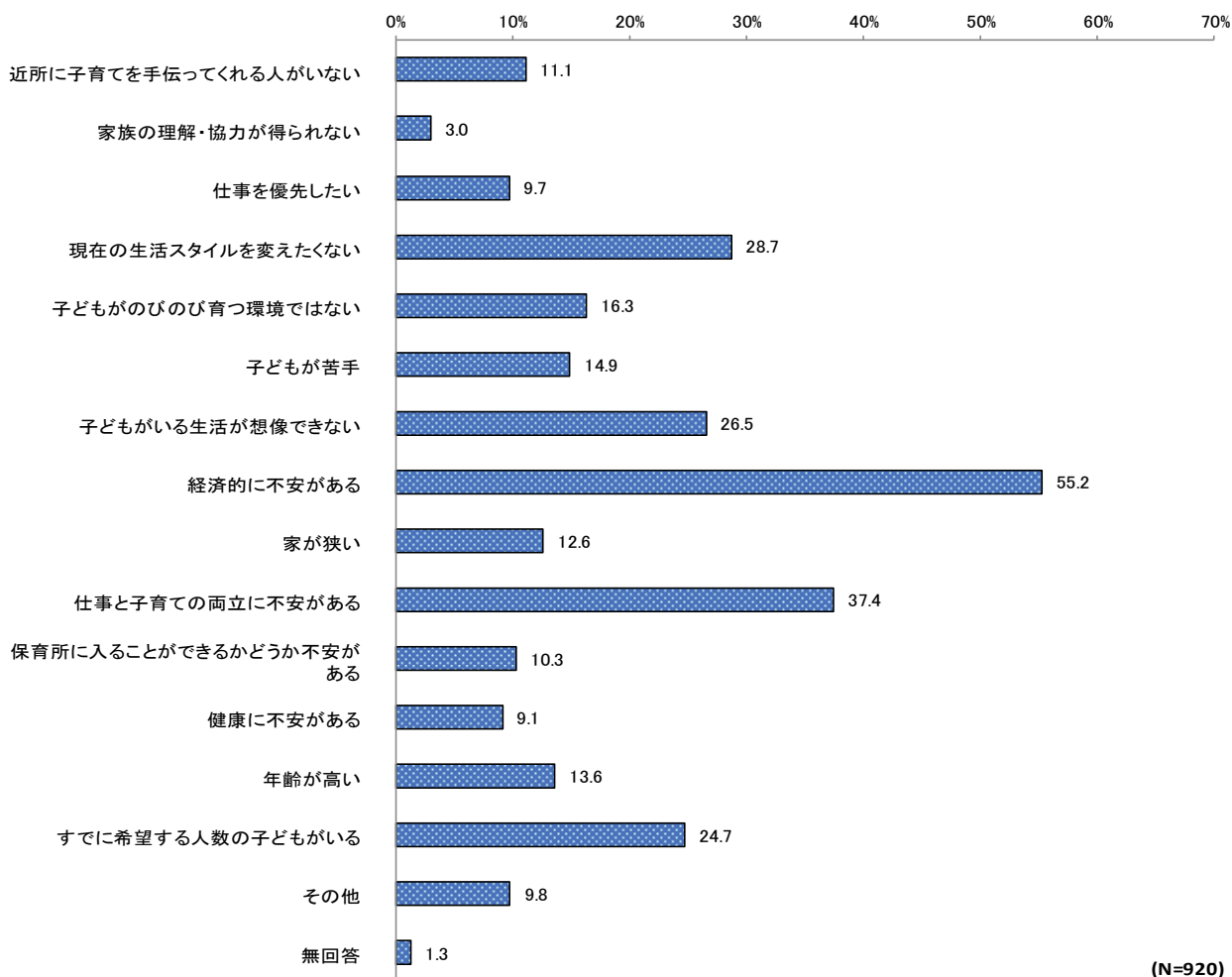


子どもが欲しいと思わない理由について 【問 19】

■子どもが欲しいとは思わない理由またはどちらともいえない理由は何ですか。

(複数回答)

◇ 「経済的に不安がある」が 55.2%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立に不安がある」が 37.4%となっている。

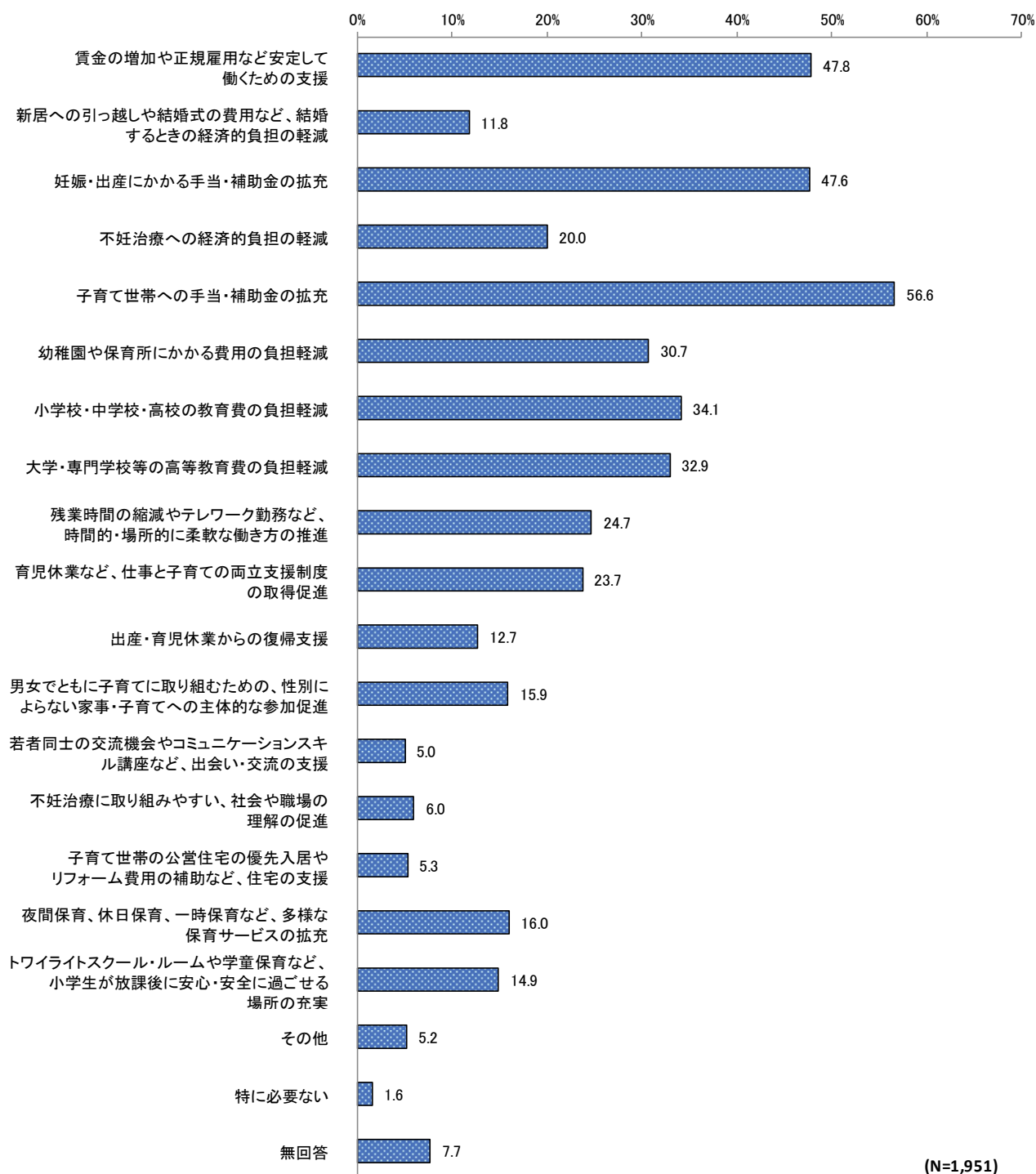


(N=920)

少子化対策として必要な支援について 【問 20】

■ 少子化対策として、あなたが特に必要だと思う支援は何ですか。（5つまで回答）

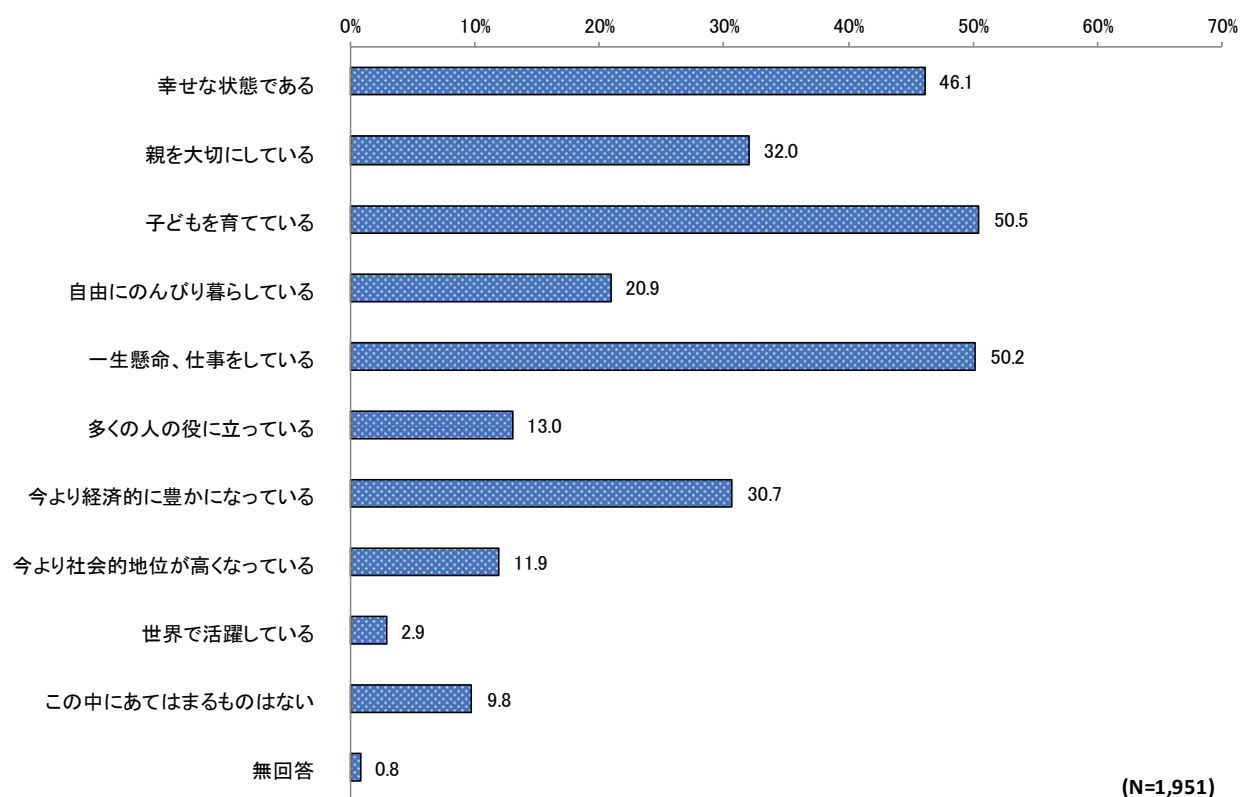
◇ 「子育て世帯への手当・補助金の拡充」が 56.6%と最も多く、次いで「賃金の増加や正規雇用など安定して働くための支援」が 47.8%となっている。



5年後の自分のイメージについて【問 48】

■ 5年後の自分をどのようにイメージしていますか。(複数回答)

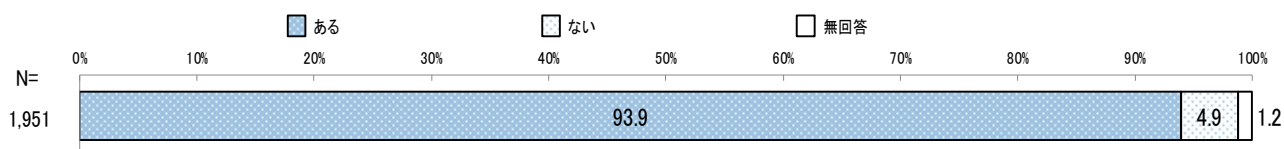
◇ 「子どもを育てている」が50.5%と最も多く、次いで「一生懸命、仕事をしている」が50.2%、「幸せな状態である」が46.1%となっている。



居場所について【問 52】

■ あなたにとって、居場所（ほっとできる場所、居心地のよい場所）はありますか。
(1つ)

◇ 全体では、「ある」が93.9%、「ない」が4.9%となっている。



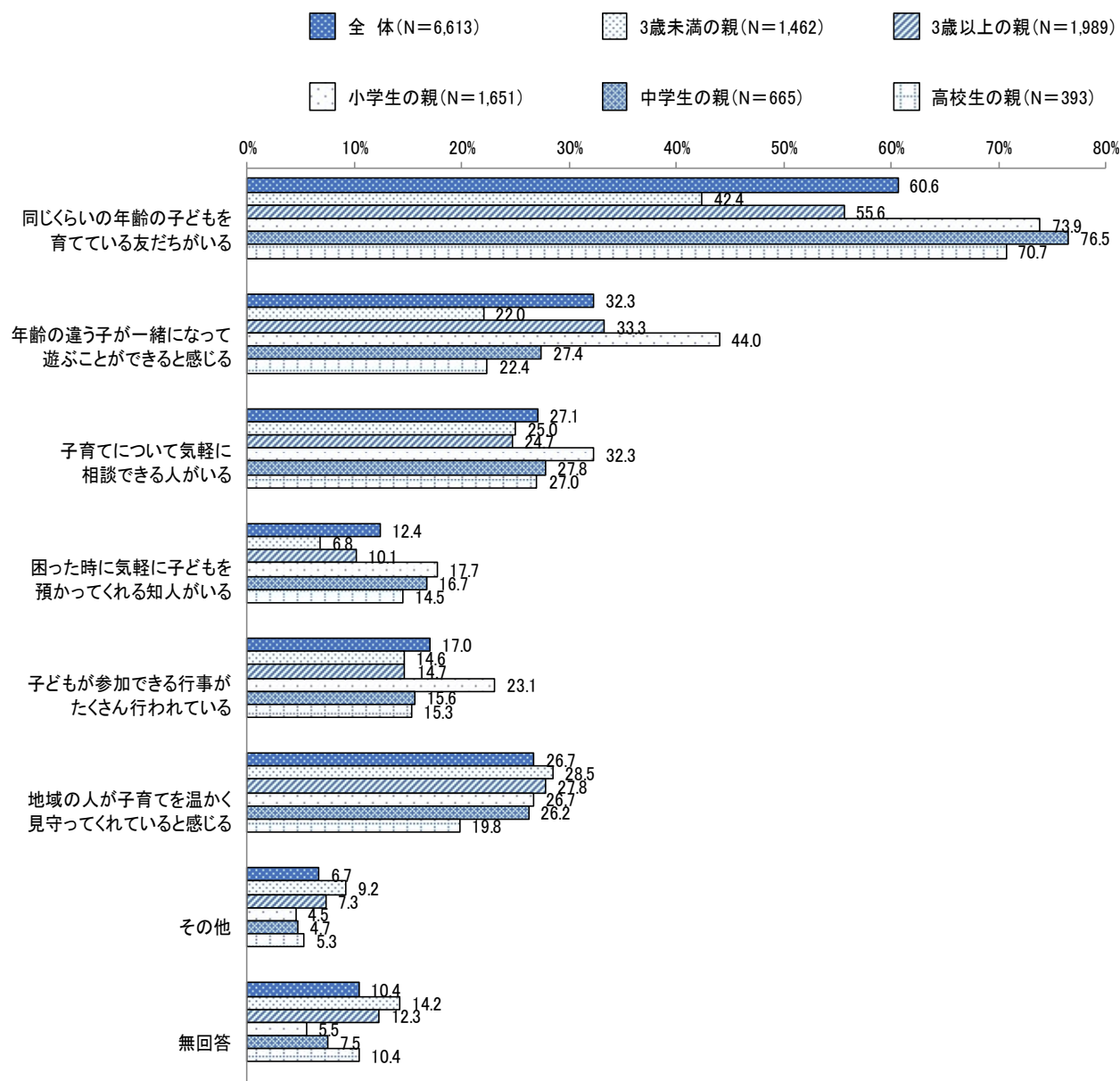
Ⅲ 子育て家庭調査

地域の子育ての状況について 【問6】

■子育てについて、あなたのお住まいの地域にあてはまるものを選んでください。

(複数回答)

- ◇ 全体では、「同じくらいの年齢の子どもを育てている友だちがいる」が60.6%と最も多く、次いで「年齢の違う子が一緒になって遊ぶことができると感じる」が32.3%、「子育てについて気軽に相談できる人がある」が27.1%となっている。
- ◇ 「同じくらいの年齢の子どもを育てている友だちがいる」では、就学後の親の割合がいずれも7割以上である。

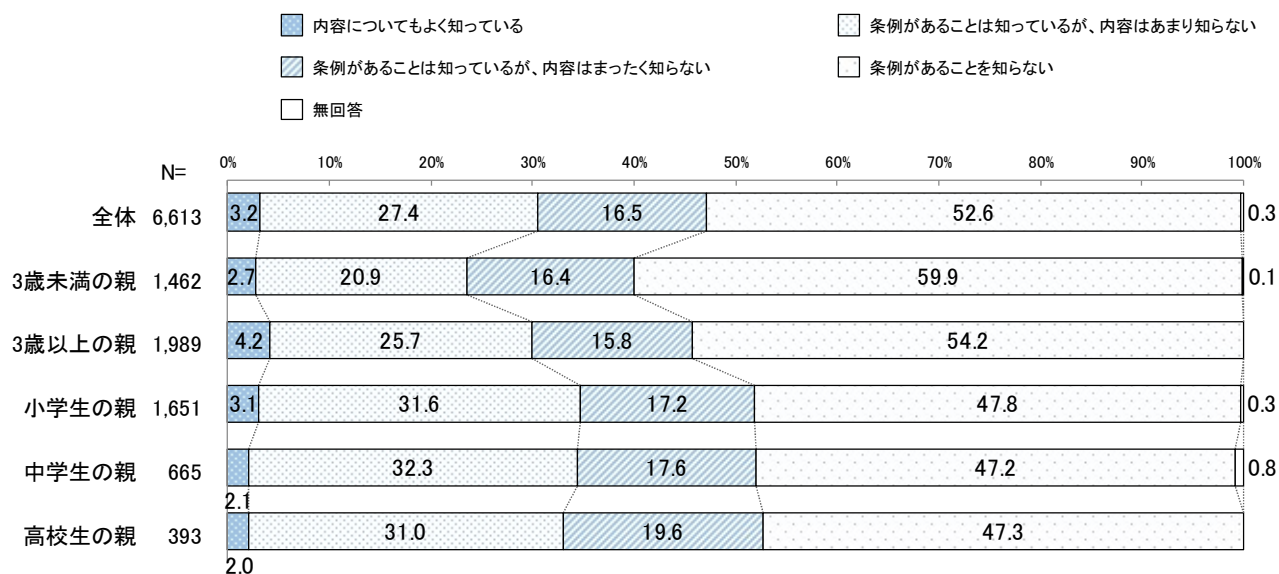


なごや子どもの権利条例について 【就学前 問8・就学後 問9】

■あなたは、「なごや子どもの権利条例」を知っていますか。（1つ）

◇ 全体では、「条例があることを知らない」が52.6%と最も多く、次いで「条例があることは知っているが、内容はあまり知らない」が27.4%、「条例があることは知っているが、内容はまったく知らない」が16.5%、「内容についてもよく知っている」が3.2%である。

◇ 子どもが就学前の親の過半数は、条例があることを認知していない。



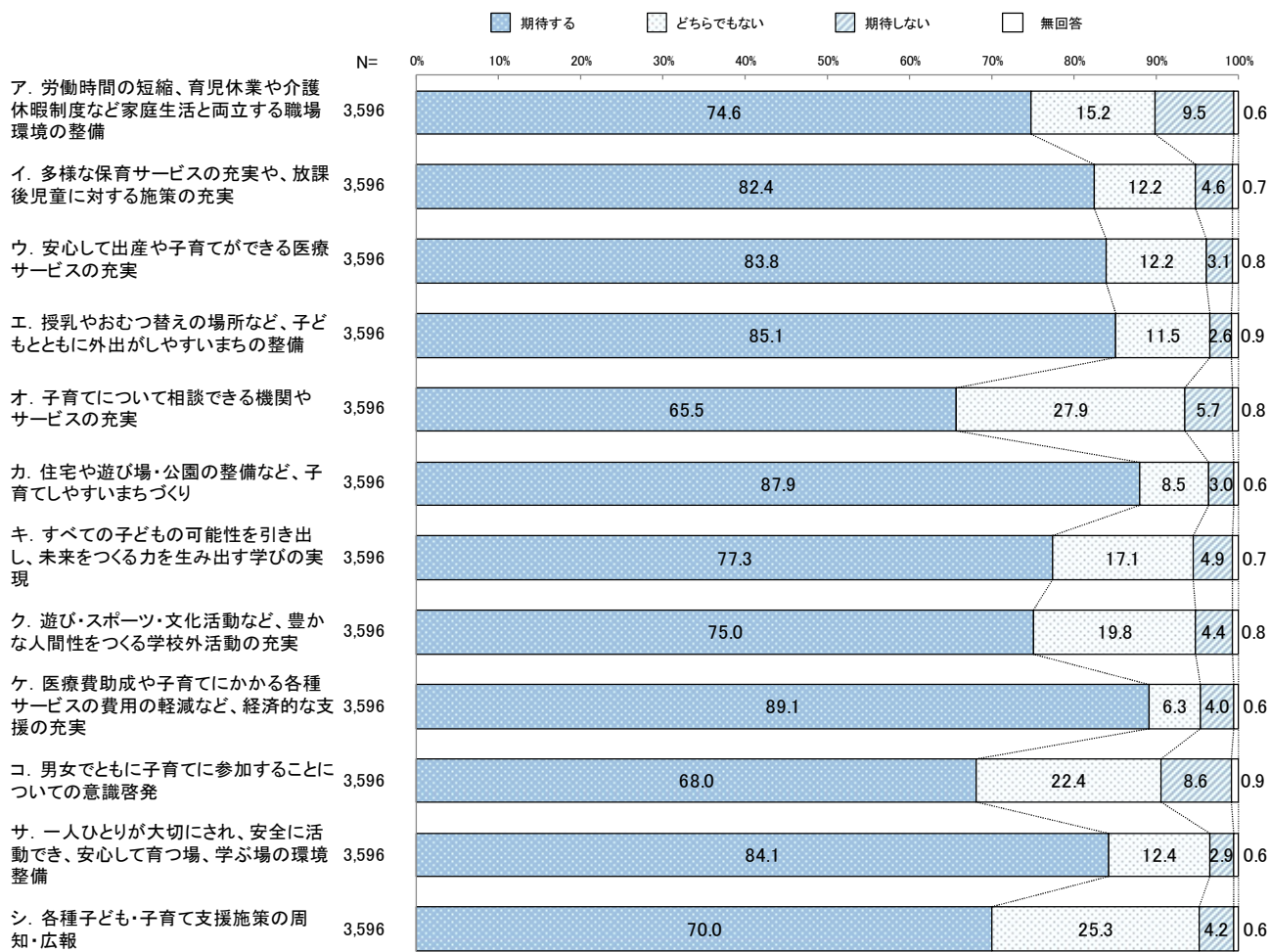
名古屋市の子育て支援の取り組みについて【就学前 問10・就学後 問11】

■名古屋市の子ども・子育て支援への取り組みについてあてはまるものを選んでください。

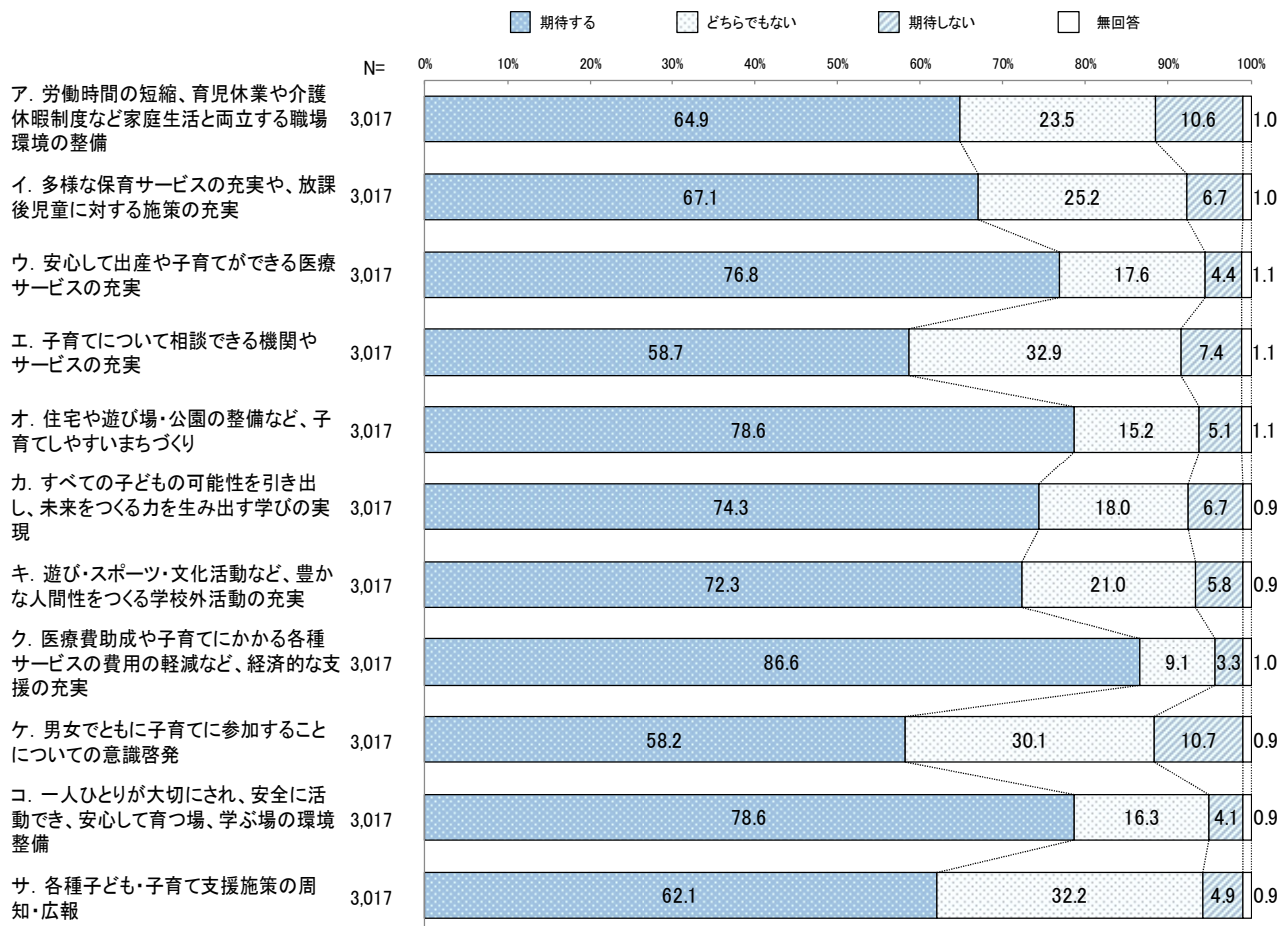
(1) 期待の有無

- ◇ 子どもが就学前・就学後の親がともに「期待する」の割合が最も高いのは、「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」である。
- ◇ 子どもが就学前の親が「期待しない」の割合が最も高いのは、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備」である。子どもが就学後の親は「男女でともに子育てに参加することについての意識啓発」である。

<就学前>



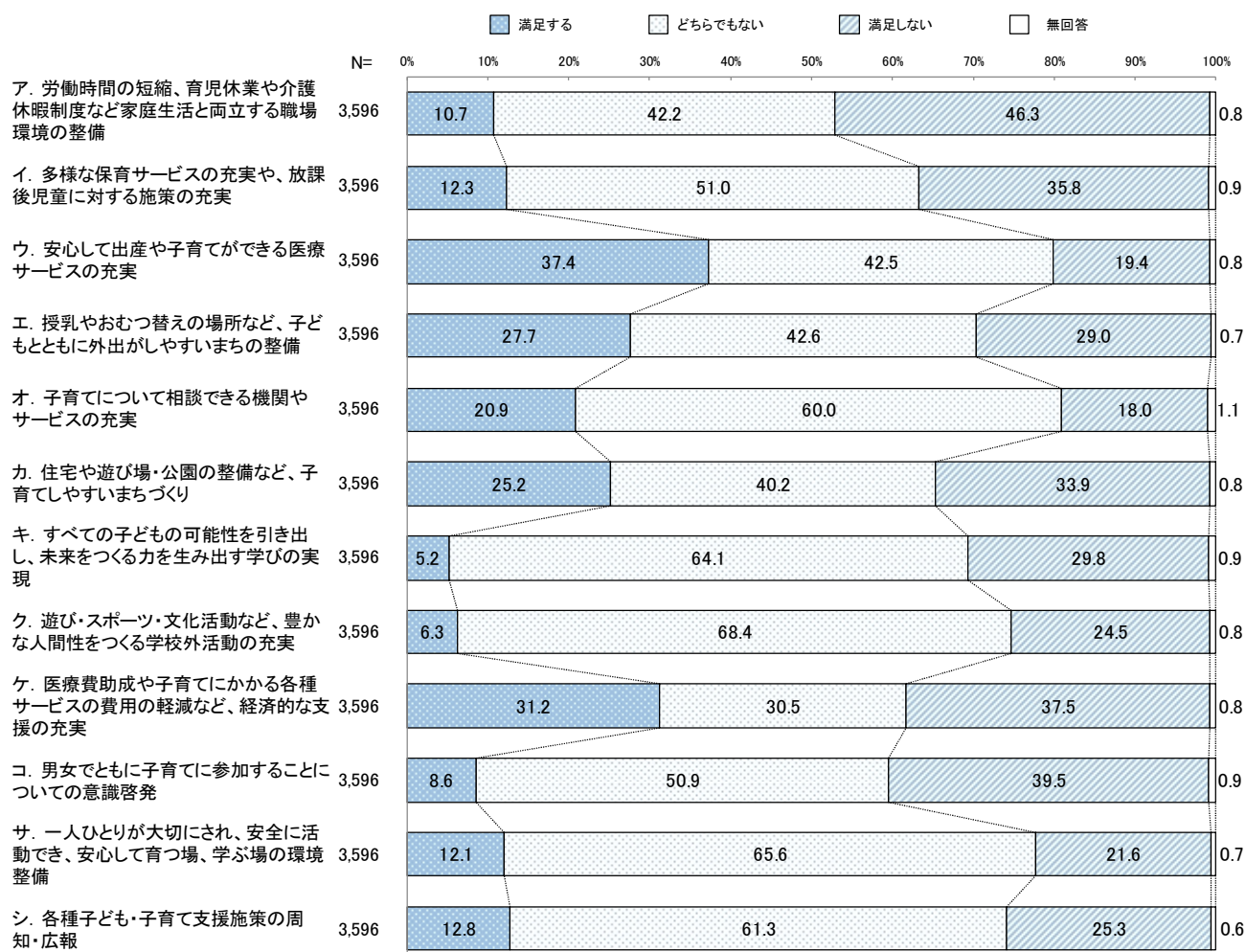
<就学後>



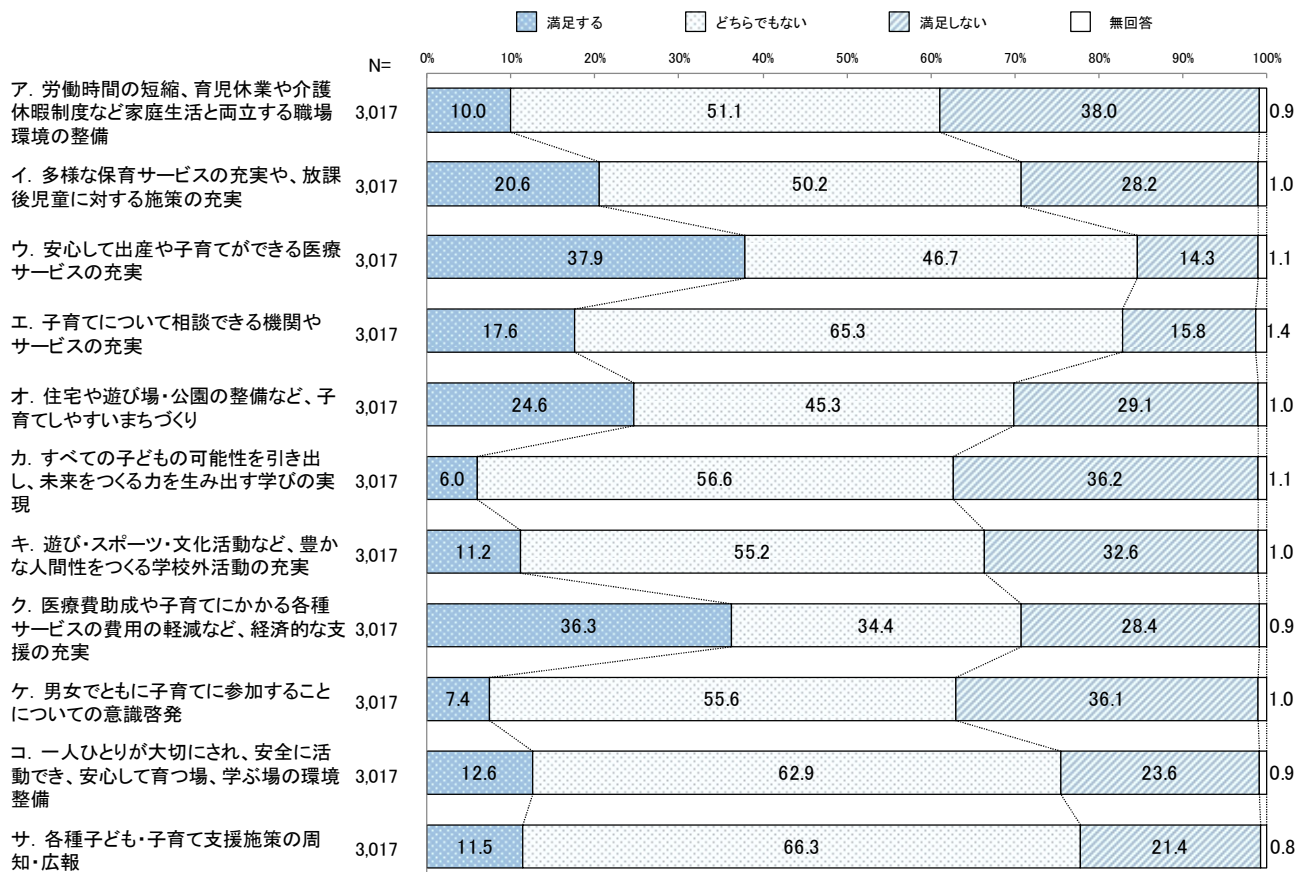
(2) 現状の満足度

- ◇ 子どもが就学前・就学後の親がともに「満足する」の割合が最も高いのは、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」である。
- ◇ 子どもが就学前・就学後の親がともに「満足しない」の割合が最も高いのは、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備」である。

<就学前>



<就学後>



両親の就労状況について 【就学前 問11・問18】 【就学後 問12・問19】

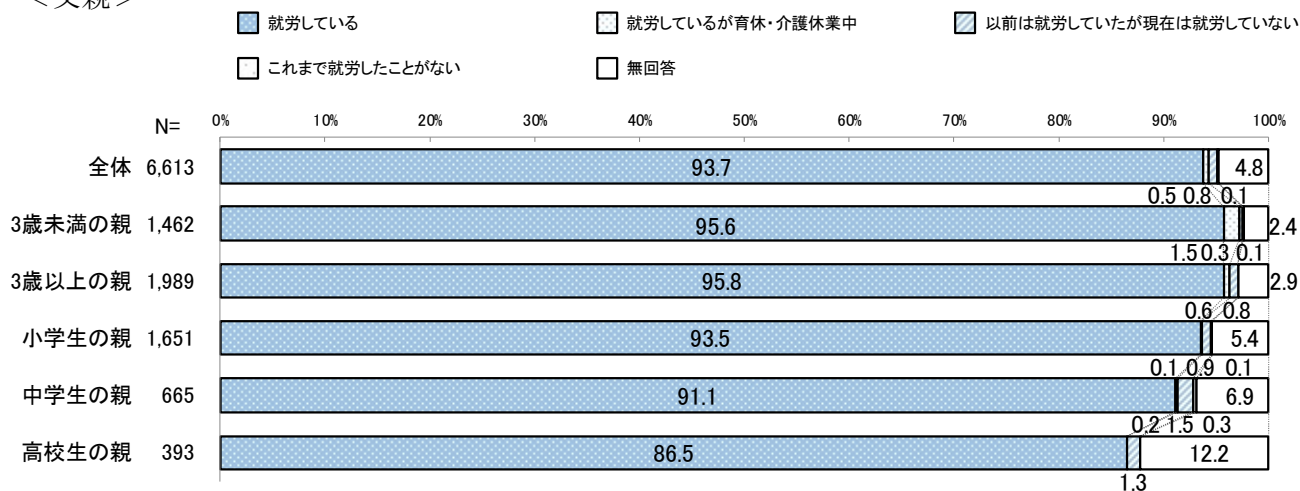
■ 父親の就労状況について、あてはまるものを選んでください。(1つ)

■ 母親の就労状況について、あてはまるものを選んでください。(1つ)

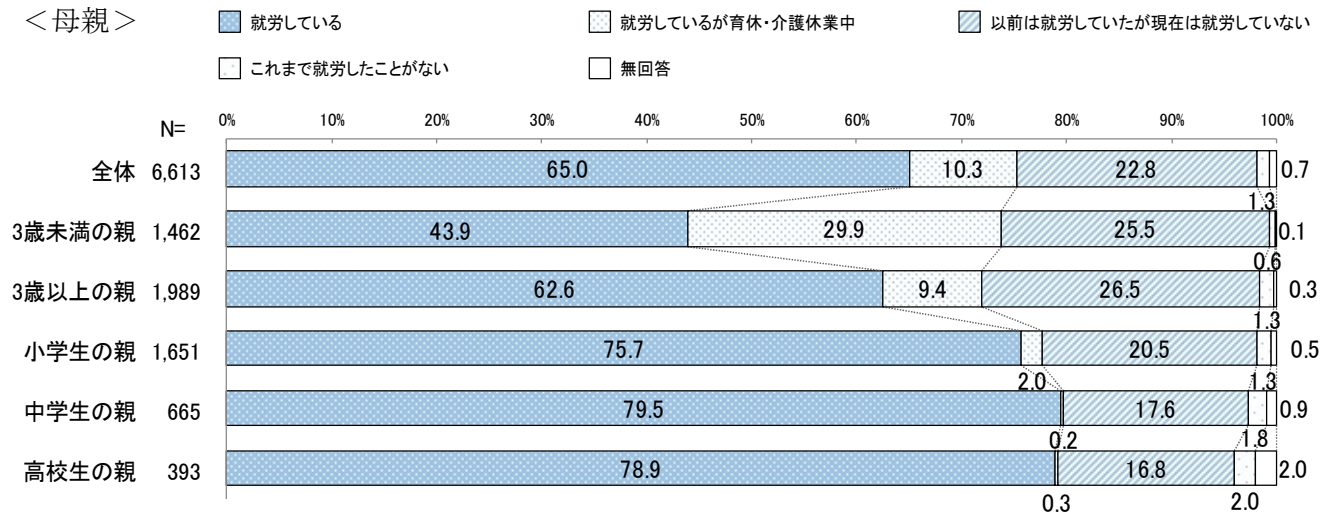
◇ 父親の就労状況では、「就労している」が93.7%である。

◇ 母親の就労状況では、「就労している」が65.0%である。

< 父親 >



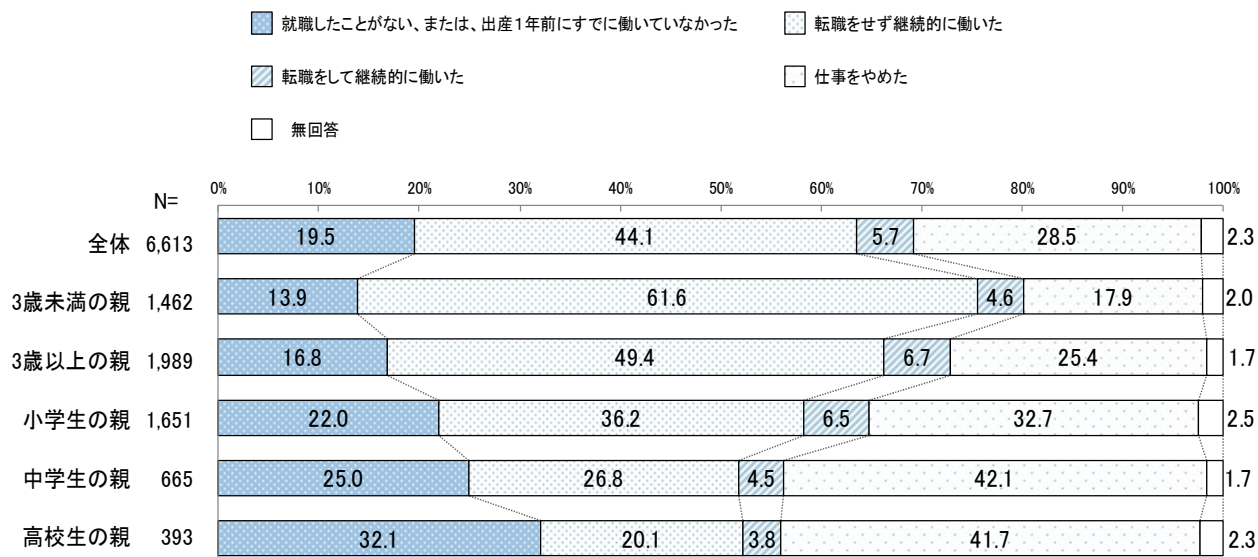
< 母親 >



出産にともなう母親の退職や転職について 【就学前 問25・就学後 問26】

■母親は、出産前後（それぞれ１年以内）に仕事をやめたり、転職をしましたか。（１つ）

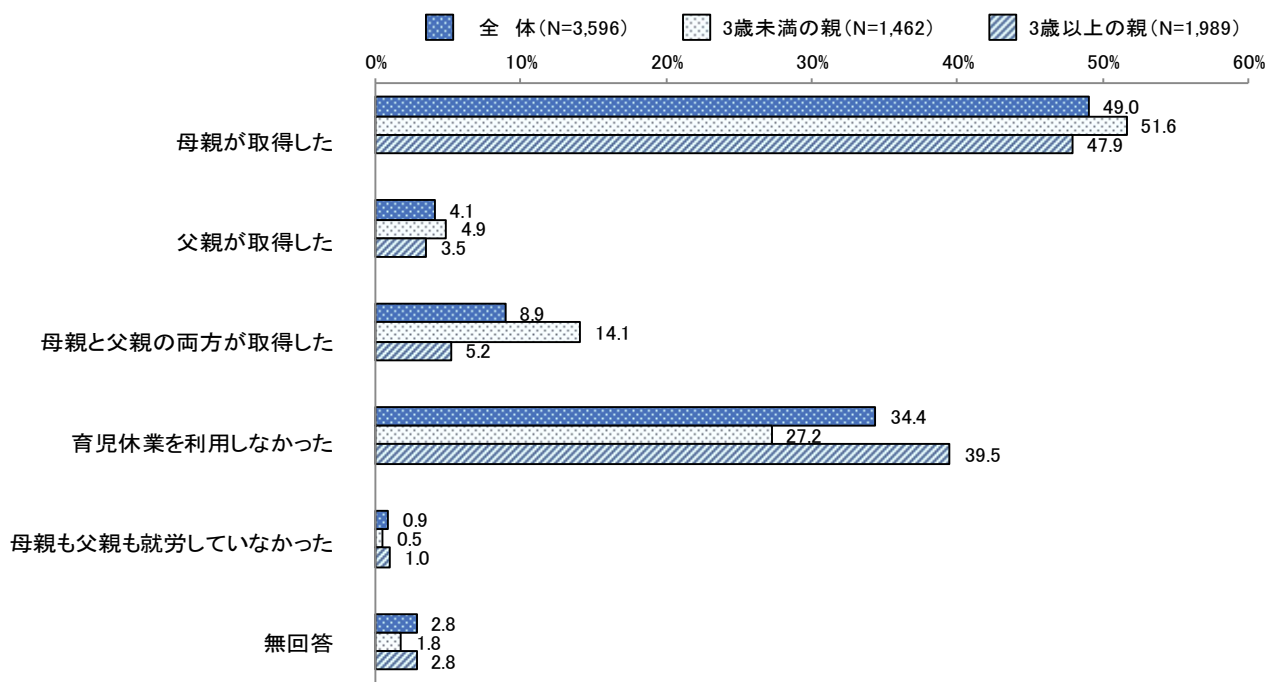
- ◇ 全体では、「転職をせず継続的に働いた」が44.1%と最も多く、次いで、「仕事をやめた」が28.5%、「就職したことがない、または、出産１年前にすでに働いていなかった」が19.5%となっている。
- ◇ 「３歳未満の親」では、「転職をせず継続的に働いた」の割合が最も高く、61.6%となっている。



育児休業の取得について 【就学前 問 27】

■あて名のお子さんについて、母親または父親が育児休業を取得しましたか。（１つ）

- ◇ 全体では、「母親が取得した」が49.0%と最も高く、次いで「育児休業を利用しなかった」が34.4%、「母親と父親の両方が取得した」が8.9%となっている。
- ◇ 「育児休業を利用しなかった」割合は、「３歳以上の親」は「３歳未満の親」よりも10ポイント以上高くなった。



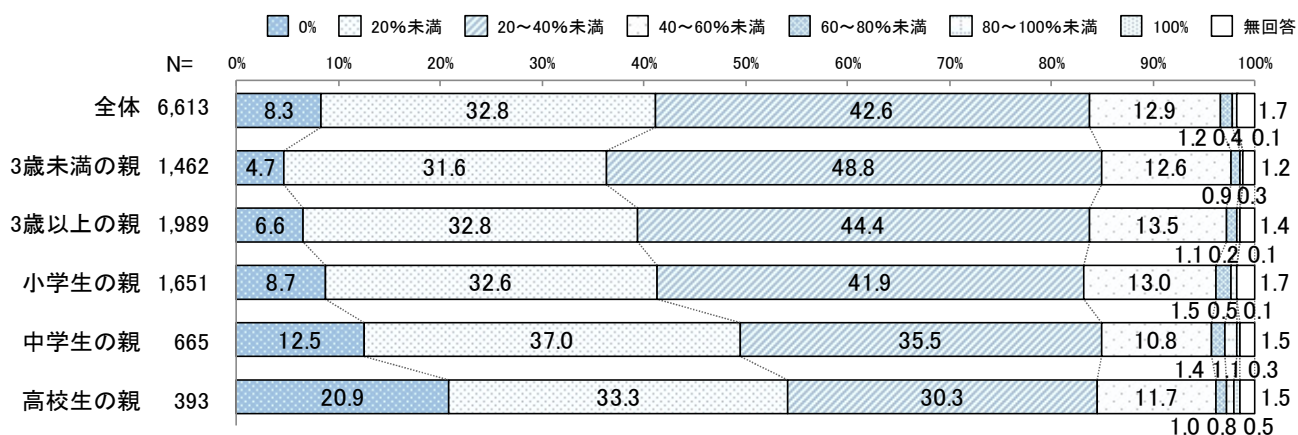
家事・子育ての分担について 【就学前 問 32・就学後 問 31】

■現在、家事・子育てをどのように分担していますか。父親と母親の分担の割合を、全体で100%になるように数字で記入してください。

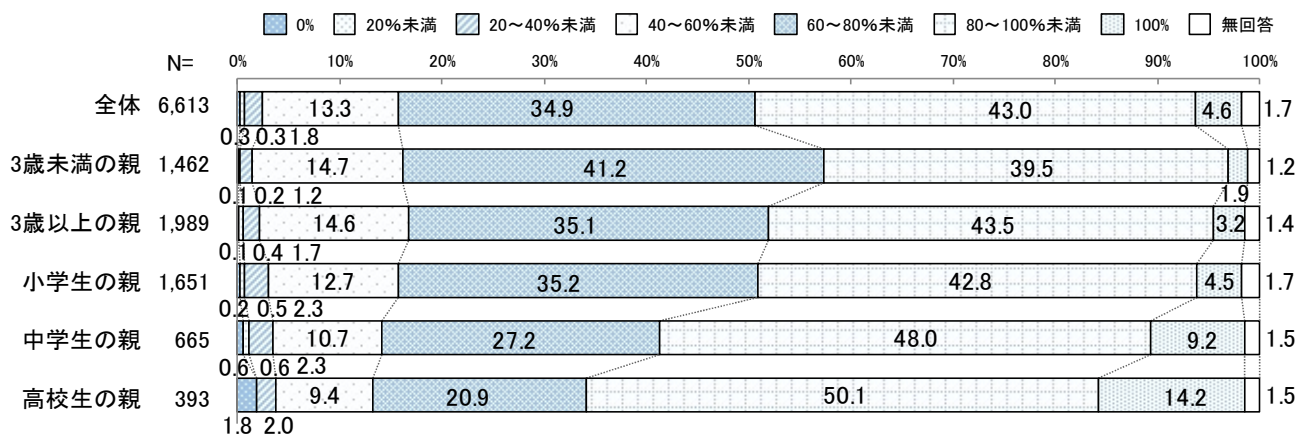
◇ 全体では、父親は「20～40%未満」が42.6%と最も多く、母親は「80～100%未満」が43.0%、祖父母等の援助は「0%」が57.2%とそれぞれ最も多い。

◇ 子どもの年代が高い親ほど、母親が80%以上と回答した割合が高くなっている。

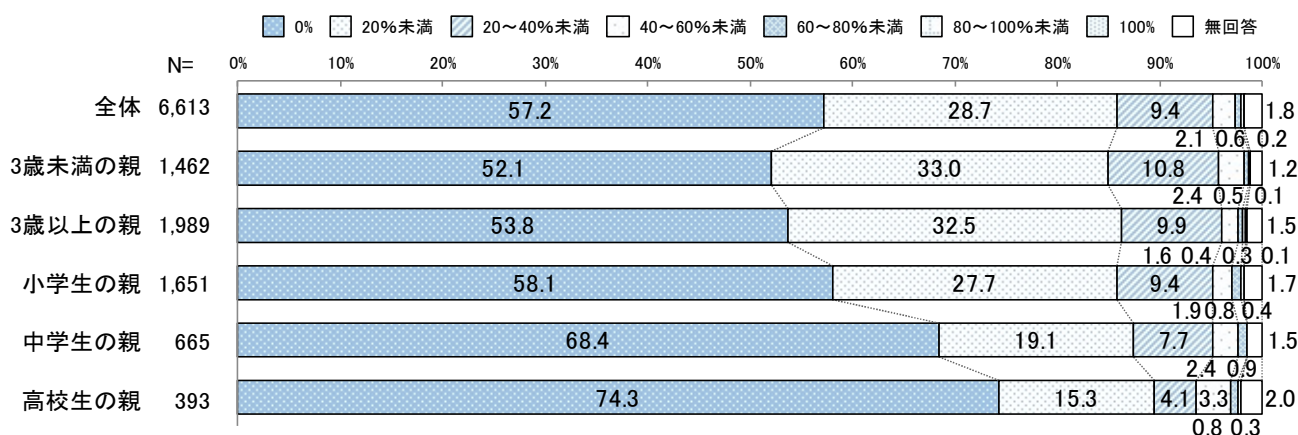
(1) 父親の割合



(2) 母親の割合



(3) 祖父母等の援助の割合

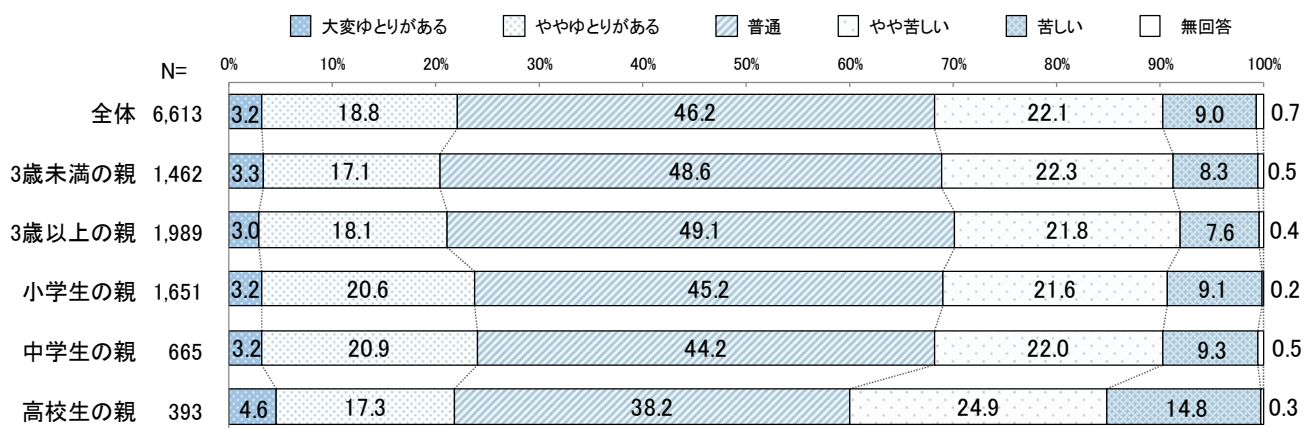


子育ての経済的負担について 【就学前 問 71・就学後 問 32】

■あなたの世帯の現在の暮らし向きについてあてはまるものを選んでください。(1つ)

◇ 全体では、「普通」が 46.2%と最も多く、次いで「やや苦しい」が 22.1%、「ややゆとりがある」が 18.8%となっている。

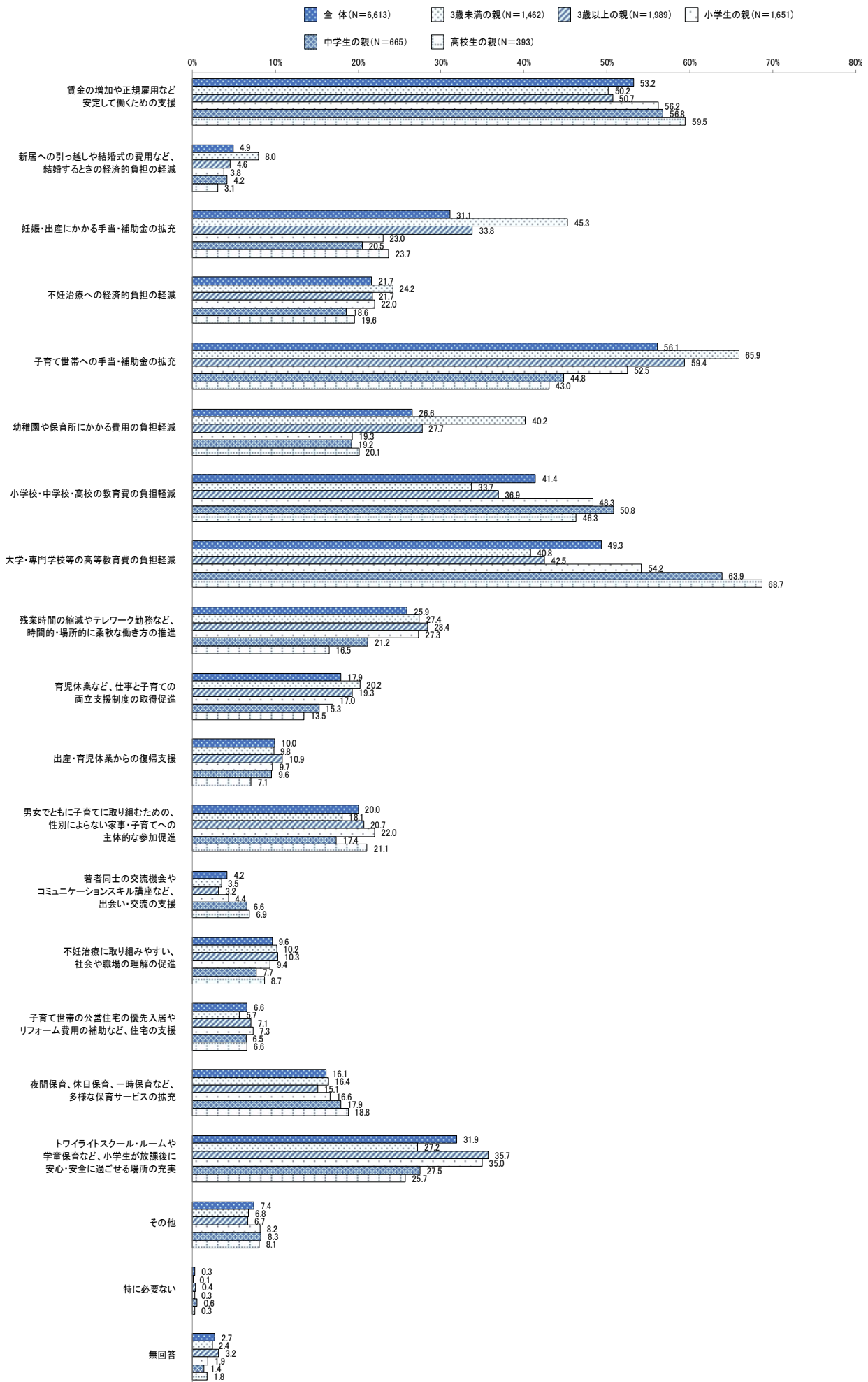
◇ 「苦しい」の割合は、「高校生の親」が 14.8%と最も高い。



少子化対策として特に必要だと思う支援【就学前 問 83・就学後 問 47】

■少子化対策として、あなたが特に必要だと思う支援は何ですか。（5つまで）

- ◇ 全体では、「子育て世帯への手当・補助金の拡充」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「賃金の増加や正規雇用など安定して働くための支援」が 53.2%、「大学・専門学校等の高等教育費の負担軽減」が 49.3%となっている。
- ◇ 「賃金の増加や正規雇用など安定して働くための支援」を見ると、いずれの年代の子どもをもつ親も過半数を占めている。



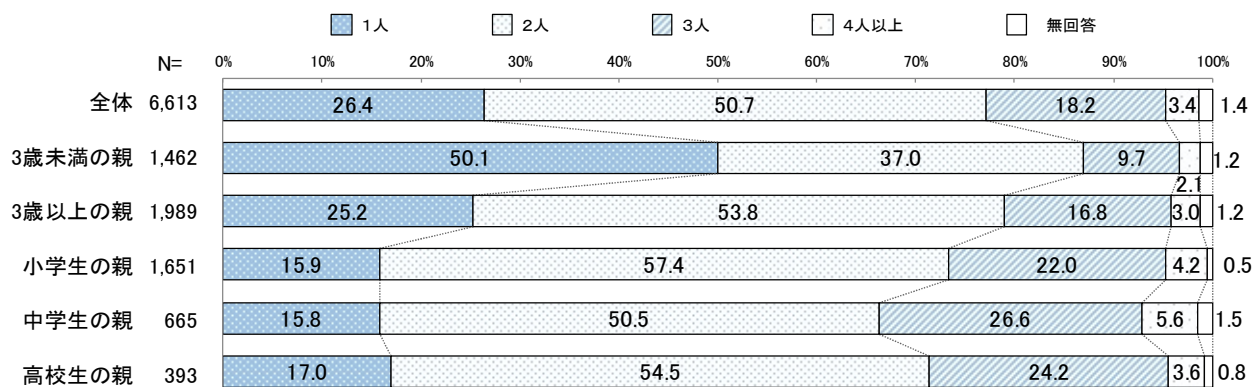
お子さんの人数について 【就学前 問 84・就学後 問 48】

■ あなたには何人のお子さんがいますか。また、理想としては、子どもは何人いるのが望ましいと考えていますか。(各1つ)

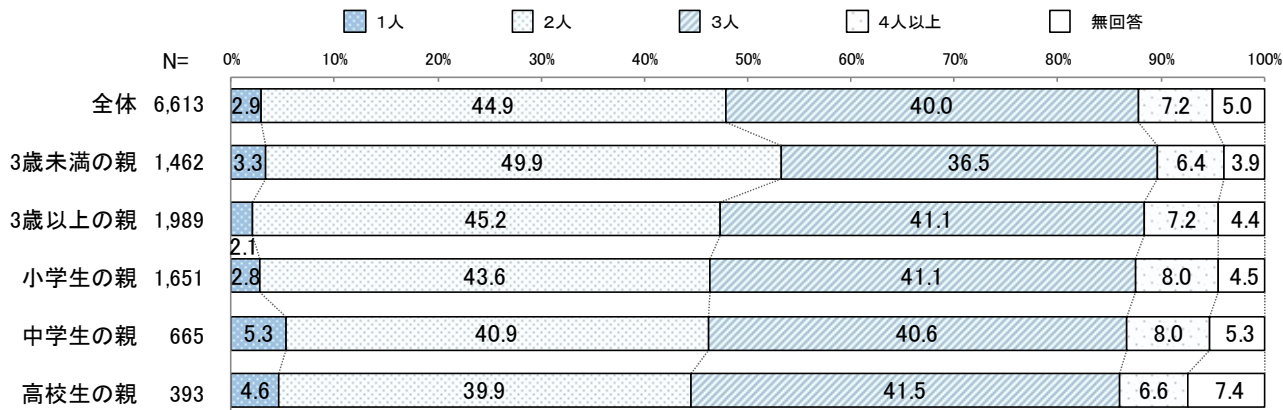
◇ 全体では、実際の子どもの人数は、「2人」が50.7%、次いで「1人」が26.4%となっており、理想とする子どもの人数は、「2人」が44.9%、次いで「3人」が40.0%となっている。

◇ いずれの年代の子どもをもつ親も、実際の子どもの人数を3人以上と回答した割合より、理想とする子どもの人数を3人以上と回答した割合の方が高い。

(1) お子さんの人数



(2) 理想とする人数



お子さんの人数が理想とする人数より少ない理由について【就学前 問 85・就学後 問 49】

■お子さんの人数が理想とする人数より少ない理由は何ですか。（3つまで）

- ◇ 全体では、「経済的に余裕がないから」が52.0%と最も多く、次いで「子育ての身体的・精神的な負担が大きいから」が35.5%、「仕事と子育ての両立が難しいから」が31.0%となっている。
- ◇ 「3歳未満の親」では、「今後、出産の予定がある（出産を希望している）」が40.1%と高くなっている。

